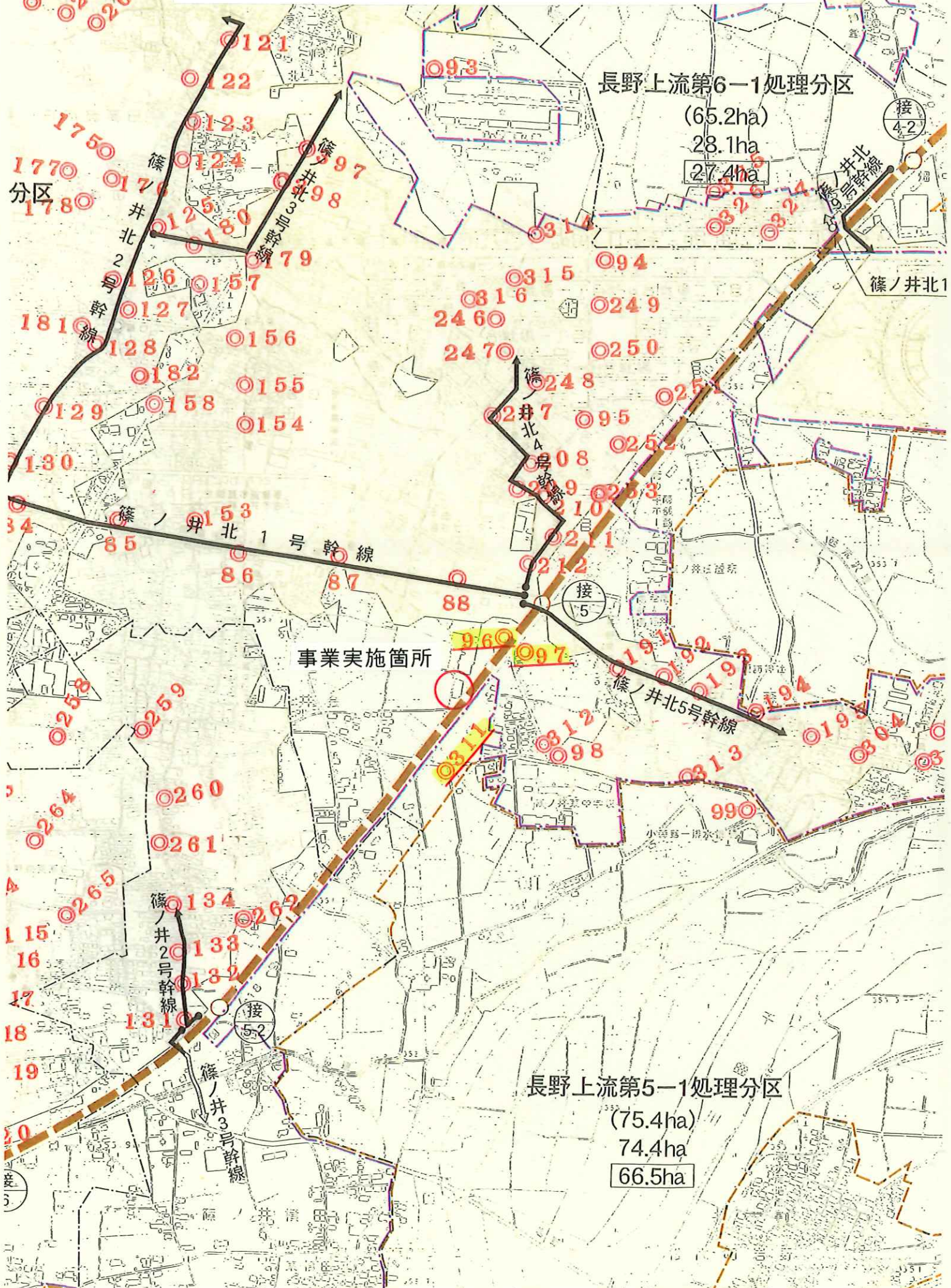


ボーリング調査実施位置図



ボーリング柱状図

◎96

調査名 川中島8号都市下水道測量設計委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	NO-5	調査位置	長野市川中島町今井〜篠ノ井森地区			北緯	
発注機関	長野市河川課	調査期間	H.6.9.17 ~ H.6.9.19			東経	
調査業者名	大日コソナルト(株) 電話(0268)2-88-8111	主任技師	有沢 良一	現代理人	青木 啓典	コソナルト 7者	荒谷 健
ボーリング責任者	大谷 健二						
孔口標高	355.065m	角	180°上 90°下	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0°
総掘進長	10.0 m	使用機種	ORV-100		ハンマー 落下用具	コーンブロー	
		エンジン	NFD-9		ポンプ	OD-60S	

標尺 (m)	層厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠密度	相対密度	記	標準貫入試験				N 値	原位置試験		試料採取		室内試験 (掘進月日)
									深 (m)	10cm 打撃回数	20cm 打撃回数	30cm 打撃回数		深 (m)	試験名	深 (m)	試料番号	
1				埋土	暗褐色土			1.00m以下までローム主体で砂少量混入。深1.0m以下は砂質土主体で砂少量混入する。	2.5	7	6	25						
2	2.00	2.00		シルト	茶褐色			水溶性成分は、部分的にシルト含有。2.0m以下はシルト質土。	2.5	2	3	30						
3	2.20	2.20		粗砂	茶褐色			若干シルト質。粒子は不均一である。	2.5	4	4	21						
4	2.55	2.75		砂	暗褐色			粒径は多量。円礫は約90%以上。円礫は10mm以下。砂質土主体。砂分は約60~70%である。	2.5	2	13	17						
5				砂	暗褐色			粒径は多量。円礫は約90%以上。円礫は10mm以下。砂質土主体。砂分は約60~70%である。	2.5	20	21	59						
6				砂	暗褐色			粒径は多量。円礫は約90%以上。円礫は10mm以下。砂質土主体。砂分は約60~70%である。	2.5	2	18	59						
7				砂	暗褐色			粒径は多量。円礫は約90%以上。円礫は10mm以下。砂質土主体。砂分は約60~70%である。	2.5	12	13	46						
8	2.55	2.70		粗砂	茶褐色			粒径は多量。円礫は約90%以上。円礫は10mm以下。砂質土主体。砂分は約60~70%である。	2.5	8	11	18						
9	2.50	2.40		粗砂	茶褐色			粒径は多量。円礫は約90%以上。円礫は10mm以下。砂質土主体。砂分は約60~70%である。	2.5	9	10	11						
10	2.60	2.00		粗砂	茶褐色			粒径は多量。円礫は約90%以上。円礫は10mm以下。砂質土主体。砂分は約60~70%である。	2.5	9	10	11						
11	2.85	2.85		粗砂	茶褐色			粒径は多量。円礫は約90%以上。円礫は10mm以下。砂質土主体。砂分は約60~70%である。	2.5	12	18	20						
12	2.85	2.40		粗砂	茶褐色			粒径は多量。円礫は約90%以上。円礫は10mm以下。砂質土主体。砂分は約60~70%である。	2.5	12	18	20						

凡例

柱状図および土質区分

第1分類			第2分類			第3分類		
区分	分類名	図例	区分	分類名	図例	区分	分類名	図例
土質	礫 (G)		地質	砂質土 (S)		岩石材料	硬岩 (HR)	
	礫質土 (G)			シルト質 (M)			中硬岩 (MR)	
	砂 (S)			粘土質 (C)			軟岩・風化岩 (WR)	
	砂質土 (S)			有機質 (O)			玉石 (B)	
	シルト (M)			火山灰質 (V)			浮石 (軽石) (Pm)	
粘性土 (C)		玉石混り (-B)		シラス (Si)				
有機質土 (O)		砂利・礫混り (-G)		スコリア (Sc)				
火山灰粘性土 (V)		砂混り (-S)		火山灰 (VA)				
高有機質土 (腐植土) (Pi)		シルト混り (-M)		ローム (Lm)				
		粘土混り (-C)		風化岩 (Kb)				

試料採取方法

- ① シンウォールサンプラーによる
- ② デニソンサンプラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンプラーによる
- ⑤ () による

備考

